

## 平成24年度『卒団証書授与式』送辞

春らしい日差しが降り注ぐこの日に、本日卒団されます151名のみなさん、卒団おめでとうございます。

まだ、野球のルールすら知らず、大きすぎるユニフォームに身を包んでみなさんは入団してきました。以来、みなさんはグラウンドの上でさまざまな経験をしてきたと思います。ヒットを打って塁上でガッツポーズをする姿や、エラーをしてがっくり肩を落とす姿、試合に勝利してチームみんなで喜んでいる姿、みなさんがグラウンドで躍動し、泣き笑いする姿を身近で見せていただき私自身たくさんの感動をみなさんに頂きました。

おりしも昨日3月2日より第3回WBCが開幕となりました。グラウンドの上でハツラツとプレーする日本代表の選手たちに自分の将来の姿を映し合わせている子も少なくないと思います。

夢や憧れを抱くことは大変すばらしいことです。夢や憧れから自分自身の明確な目標を作りそこに向かって進んで行く事はこらからの皆さんの人生を必ず素晴らしい方向へ向かわせてくれるものだと思います。

いよいよ4月から中学生生活がスタートします。野球を続ける子も、他のスポーツへ進む子、勉学に励む子、芸術の道へ進む子もいると思いますが、まずは、自分がこうなりたいというイメージを作りしっかりと目標を持って日々生活をしていって下さい。

スポ少で学んだ事はひとつの君たちの財産だと思います。それを糧としてこれからの中学校生活、勉強にスポーツに存分に楽しんで下さい。

これからは、同じ時期に同じグラウンドで野球に取り組んだ君たちを影ながら応援していきたいと思います。本日は本当に卒団おめでとうございます。

平成25年3月3日

中央野球監督

小林一洋